

令和元年 7月 10日

手足口病に関する注意喚起について

手足口病が県内で流行しています。定点医療機関あたりの患者報告数が13.28人となり、警報レベル「5人」を超えました。
全国的にも、患者報告数が増加しており、手足口病の感染予防のため注意喚起します。

1 県内の発生状況

● 定点医療機関あたりの患者報告数 (感染症発生動向調査)

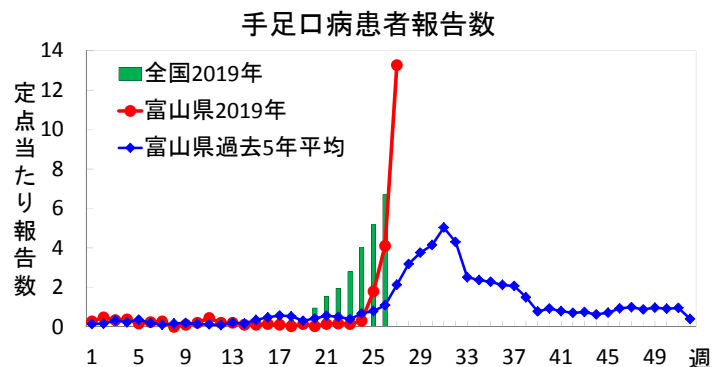
週	23週 6/3~6/9	24週 6/10~6/16	25週 6/17~6/23	26週 6/24~6/30	27週 7/1~7/7
富山県	0.14	0.31	1.79	4.10	13.28
全国	2.79	4.03	5.18	6.70	(7/16公表予定)

※ 定点医療機関数 富山県：29医療機関、全国：約3,000医療機関

2 予防のポイント

- 石けんと流水でしっかり手洗いをしましょう。特に、排便後の手洗いを徹底しましょう。
- 患者が乳幼児の場合には、おむつ交換後もしっかり手洗いをしましょう。
- 保育所・幼稚園などの集団生活では、タオルの共用を避けましょう。

感染経路は、患者の咳やくしゃみに含まれるウイルスによる飛沫感染や、便中に排出されたウイルスが手などを介して口から入る経口感染です。症状がなくなった後も、2~4週間は便からウイルスが検出されることがあります。



3 手足口病とは

手足口病は、ウイルスを原因とする感染症です。手のひらや足の裏、口の中に水疱を伴った発疹を特徴とします。発熱や食欲不振、のどの痛みなどが見られます。また、まれに髄膜炎、脳炎などの合併症がみられる場合があります。現時点でワクチンはありません。

※報道機関の皆様には、県民の方々に対し、手足口病を予防するため、注意喚起に格段の御協力をお願い致します。